

N I F E E (National InterFacing Engineering Education) プログラム

【N I F E Eプログラム】 はじめての卒業生が9月に誕生します=====

東大の秋季入学（P E A K）に4年先駆けて、平成21年にスタートした静岡大学工学部に入学を希望する留学生を対象とした秋季入学プログラムの第一期生が9月に卒業する予定です。このプログラムはASEAN3カ国（インドネシア、タイ、ベトナム）の留学生を対象としており、名称は“National InterFacing Engineers Education Program [以下N I F E E（ニフィー）：静大として商標登録してあります]”と呼ばれる、全国の国立大学の先陣を切った秋季入学特別教育プログラムです。

【N I F E Eプログラム】 入試は現地で行う特別入試です=====

工学部各学科合計の定員10名の募集で、優秀な受験生を確保するために入学検定料・入学金・授業料を免除しています。毎年3月末にホーチミン、ジャカルタ、バンコクの3か所に教員・事務員が出張し、日本留学試験（E J U）を受けていない受験生にはその代替学力試験（筆記）と、受験生全員の面接試験（日本の面接員はスカイプを通じて参加）を行って合格者を決定しています。入試倍率は2倍程度（時には3倍を超える）ありますが、理数系科目の成績が優秀であることに加えて語学：英語と日本語能力（N3級程度）の優れた受験生は少なく、結果的に定員一杯の人数を合格させることはなかなか困難なのが現状です。

現地では、オーストラリア、カナダ、英国、米国、仏国、独国の大学と、急増した日本の大学が入り乱れて激しい留学生獲得競争を演じています。このプログラムは、日本の大学の中では一歩先を行っています。

【N I F E Eプログラム】 特徴ある教育カリキュラムを準備しました=====

10月に入学した新生には、半年間（秋学期）、月曜から金曜まで毎日午後2コマを使った集中日本語教育に加えて、対象国の高校までの教育素養の不揃いを解消するための基礎数学、基礎物理、基礎化学と新生セミナーの授業を行っています。

翌年4月（春学期）からは、希望する各学科に分かれて、日本人の新生と机をならべて一緒に授業を受けます。さらに、「日本産業史」、「社会と製造業」（いずれもNIFEE教養）、「環境・エネルギーと技術」、「技術の国際化」（こちらはNIFEE専門）といった特別科目を履修します。卒業研究には4年生春学期の半年間従事し、8月末から9月上旬に発表会が行われます。

この事業では、母国の産業の発展に貢献できる技術力を身に付け、母国と日本の架け橋になるエンジニアを育成するだけでなく、机を並べて勉学する日本人学生に刺激を与えることで、工学部学生の国際化の推進と学士力の向上も目的としています。

【N I F E Eプログラム】 在籍者は女性が多くなっています=====

これまでの入学者は、平成H21年10月入学の第1期生3名（内、女性1名）に始まり、累計で27名（内、女性14名）に達しており、出身国別ではベトナム24名、インドネシア3名となっています。さらに、今年10月にはインドネシアから初の女性1名を含む、ベトナム、インドネシアから合計3名が入学予定です。

このように、工学部に入学してくる日本人学生と比較すると大幅に女子学生の比率が高くなっ

ています。これは、対象国（特にベトナム）では、女子学生の方が勤勉に躰けられているという文化的背景の影響も大きいと考えています。

また、タイ国は、この事業開始当初には政治情勢がやや不安定で、実質的な広報活動開始が2011年度後半になってしまったので、今後の応募・合格に期待しています。

【N I F E Eプログラム】ASEAN 諸国の学生には生活資金確保が大変です=====

ASEAN 諸国の国民一人あたりの GDP は大変低く、例えば、ベトナムの公務員の給与は月2万円ほどです。このため、給与の過半を仕送りしてもらっても大幅に生活費が不足します。そこで、NIFEEでは「国際交流会館」または最近整備された「あけぼの寮（留学生男・女、日本人女子）」に1年間入居させ、2年目から4年目までは、借り上げアパートを準備し家賃の半額を大学から補助しています。

渡日後の半年間は日本語能力の向上と日本文化の理解に専念させるためアルバイトを禁止していますが、翌年の春からはアルバイトで生活費を稼ぐことが必須となっています。しかし、アルバイトに精を出し過ぎると成績の不振につながるので、生活指導や成績のチェックを細かく行っています。そのような生活環境の中にあっても、大変優秀な成績を修めている学生が多く、GPA3.0以上の学生が何人もいます。

【N I F E Eプログラム】特別経費の示達は今年度で終了します=====

2年近くの準備期間：海外調査・広報と学内の制度整備を経て、平成21年度から静岡大学工学部のNIFEEプログラムがスタートしましたが、正式に事業費（教育研究特別経費）が採択されたのは平成22年度からで、4年間の支援期間が今年度で終了します。しかしながら、卒業生たちが巣立って行くのはこれからです。第一期生の3名は全員が大学院に自己推薦で合格しており、今年の10月に大学院入学予定です。今後とも優秀なNIFEE学生たちは大学院へ進学するものと期待していますし、彼らの能力がいかに発揮できるような就職への支援も欠かせません。

NIFEEプログラムは事業費の示達が終了しても、文科省からの高い評価に応じて当面継続される予定で、“大学の国際化”の流れの中で、発展NIFEE（受入れ学部を増やす、対象国を広げる、大学院にも拡大する、企業との協力関係も導入する）も現在検討されています。その一方で、大学の運営交付金はじりじりと減額されています。

このようなことから、この場を借りて、今後もこのプログラムを維持・発展するにあたっての皆さまのご支援とご協力をお願いをさせていただければと思います。経済格差を少しでも埋めるような「奨学金」の設立や会社の寮の一部の提供など生活支援策についても、各段のご支援をご考慮いただければと思っています。

（文責：NIFEE 委員長 松本 隆宇）

【N I F E Eプログラム】ホームページや資料のダウンロードなど=====

ホームページ：http://www.eng.shizuoka.ac.jp/en_internationals/nifeetop/

パンフレット（英文）：http://www.eng.shizuoka.ac.jp/pdf/en/niffee/Brochure_EB.pdf

メール：niffee@adb.shizuoka.ac.jp

=====